

# 休眠預金活用の これまでとこれから

## 2020年の通常枠スケジュール(予定)

- 7月 : 資金分配団体申請締切
- 10月 : 資金分配団体決定の公表
- 11月 : 資金分配団体への助成開始
- 11月～ : 実行団体の公募開始
- 年度内 : 実行団体の選考  
実行団体への助成開始

その他、2020年度は  
「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」実施中

## 2019年の選定実績

### 2019年度資金分配団体選定



### 2019年度選定状況(8/12時点)



### 愛知県内での選定状況



出典：JANPIA「2019年度資金分配団体による実行団体の選定状況について」[https://www.janpia.or.jp/other/news/news/news\\_20200812.html](https://www.janpia.or.jp/other/news/news/news_20200812.html)

## 会場アクセス

\*会場までの交通費・オンライン通信料は自己負担となります

### 本会場

**あいち NPO 交流プラザ**  
会議コーナー  
定員：18名  
名古屋市中区上三軒が原1  
愛知県女性総合センター(ウィルあいち)2階  
[交通] 地下鉄名城線「市役所」駅下車(2番出口)徒歩10分  
名鉄瀬戸線「東大手」駅下車 徒歩8分

### サテライト会場

**ワクティブこまき**  
(こまき市民交流テラス)  
アクティブルーム  
定員：30名  
小牧市小牧3-555 ラピオ2階  
[交通] 名鉄小牧線小牧駅徒歩5分

**刈谷市民ボランティア活動センター** 談話スペース  
定員：15名  
刈谷市東陽町1丁目32-2  
刈谷市民交流センター 1階  
[交通] JR刈谷駅(南口)・名鉄刈谷駅(南口) 徒歩12分

**オンライン参加** 定員 40名 10月6日までに申込時にお知らせいただいたメールアドレスへ Zoom の URL をお送りしますので、ご自身のパソコン等からアクセスしてください。当日は13時15分よりアクセス可能となります。

## 申込方法

申込締切 9月30日(水)

● Web フォームから申し込む <https://peatix.com/event/1604573/>

● 下記の内容を E-mail にてご送付ください。  
申込書にご記入いただき、FAX/ 郵便でお送りいただくことも可能です。



ふりがな	名前	ご所属	役職
T E L		E-mail	

参加方法：いずれか1つに☑をつけてください

- あいち NPO 交流プラザ (定員：先着 18名)
- こまき市民交流テラス (定員：先着 30名)
- オンライン参加 (パソコン・通信環境は各自ご用意ください)
- 刈谷市民ボランティア活動センター (定員：先着 15名)

### 連絡欄

※会場にご参加の際はマスクの着用をお願いします。発熱のある方、倦怠感のある方、風邪の症状のある方は、ご参加をご遠慮くださいますよう、よろしく申し上げます。  
※ご記入いただいた個人情報は、当事業以外には使用いたしません。応募者多数の場合、他の参加方法をご紹介します場合がございます。

お申込  
お問合せ

NPO 法人ボランティアネイバーズ (担当：中尾・鈴木)  
☎ 052-979-6446 ☎ 052-979-6448  
(平日 10時～18時)

〒461-0005  
名古屋市中区東桜 2-18-3, 702  
✉ vns@vns.or.jp

主催：愛知県  
受託運営：NPO 法人ボランティアネイバーズ

制度の基本を  
おさらいして

「社会的インパクト評価」  
を学んで

最新の  
助成状況  
を知って

参加費  
無料

# 休眠預金活用に チャレンジしませんか？

2020  
10・7(水)  
13:30-16:30

休眠預金活用  
助成金セミナー開催



参加方法  
選べます  
詳しくは裏面で



本会場  
あいち NPO  
交流プラザ

自宅から  
オンライン参加

県内の  
サテライト会場

### ◆プログラム

#### 講演 指定活用団体

「休眠預金助成の仕組みと助成の実施状況」

講師：吉田 武志 さん

(一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) 企画広報部長)

#### 事例報告 ① 愛知県の資金分配団体

「草の根枠の助成プログラム 2019年度の取組」

報告者：三島 知斗世 さん (一般財団法人中部圏地域創造ファンド プログラムオフィサー)

#### 事例報告 ② 愛知県の実行団体 事例紹介

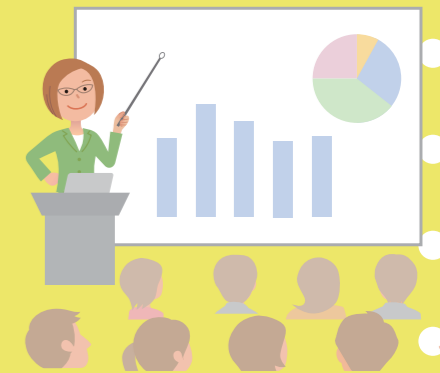
「愛知県におけるがん患者の就労支援モデル構築事業  
～医療と労働の連携を重視した包括的な就労支援体制の創出～  
／(草の根活動支援事業(全国) 資金分配団体：公益財団法人日本対がん協会)」

報告者：服部 文 さん (一般社団法人仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ 代表理事)

#### パネル ディスカッション

地域の NPO が休眠預金助成を  
活用するために必要なこと

コーディネーター：原田 峻さん (金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科 講師)



## よくあるQ & A

**Q：助成金に応募するための情報は、どこで探せばいいの？**

A：JANPIAのWebサイト内の「公募について」に、公募がスタートした情報が掲載されているよ。助成によって、公募の締切日時、選定する団体数、助成額、助成期間、助成の対象となる活動、対象地域、申請様式・方法が違うから、よく読んでから応募しようね。

[https://www.janpia.or.jp/other/news/koubo\\_about.html](https://www.janpia.or.jp/other/news/koubo_about.html)



**Q：この助成は、大きな事業でない申請できないのでは？**

A：2019年度の実行団体の選定実績では、実行団体の助成額は3年間合計で62万円～3438万円と幅広いよ（平均1091万円、中央値967万円）。1年間あたり約300万円の助成と考えると、人件費等も含む直接事業費と管理的経費を計上できるので、ものすごく大きな事業でない申請できないわけではないよ。

**Q：この助成は、毎年、同じ時期に、同じ資金分配団体が実行団体を公募するのではないの？**

A：資金分配団体についても毎年公募があり、1回選定されると最長3年間（新型コロナウイルス対応緊急支援助成は1年間）、助成活動をするんだよ。

実行団体は初年度に公募し、採択されれば最長3年間助成を受けて活動をする。毎年申請するわけではなく、複数年の事業計画や予算をまとめて申請するのが特徴。「今年は準備が間に合わないから来年申請しよう」と思っても、公募は1度だけだから、申請のタイミングに気をつけてね。

**Q：「社会的インパクト評価」ってたいへんそう**

A：採択後は社会的インパクト評価のための書類を作成し、アンケートやヒアリング調査などでデータを集めたりするよ。資金分配団体のプログラムオフィサーとやりとりをしながら、サポートを受けて進めていくことになるので安心してね。直接の活動のほか、社会的インパクト評価にかかる費用も申請できるのでコスト面での心配はないよ。

## 団体・講師等紹介

指定活用団体

### 一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

2018年7月に一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)により設立。休眠預金等活用制度において、民間公益活動促進業務の中心となり、事業計画等に基づき資金分配団体を選定し、資金分配団体に助成を行う「指定活用団体」として、2019年1月に内閣総理大臣から指定された。2019年度に22の資金分配団体を指定し、休眠預金の分配を行っている。

講師：企画広報部長 吉田 武志さん

ココが聞ける！

- ・休眠預金助成の仕組み
- ・全国の助成状況
- ・社会的インパクト評価の枠組み
- ・2020年度以降の取組予定

資金分配団体

### 一般財団法人 中部圏地域創造ファンド (CRCDF)

あいちモリコロ基金の理念と成果を継承し設立された一般財団法人として助成活動に取り組む。

2019年度に資金分配団体に採択され、草の根活動支援事業(地域ブロック)として、12の実行団体(愛知県内は6団体)に休眠預金を原資とした助成をおこなっている。

報告者：プログラムオフィサー 三島 知斗世さん

ココが聞ける！

- ・実行団体への助成・伴走支援の実施状況
- ・社会的インパクト評価の進め方
- ・2020年度以降の取組予定(コロナ枠等)

実行団体

### 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ

「病気になっても安心して暮らせる社会を実現すること」を目的とし、国家資格キャリアコンサルタントを中心としたメンバーで、病気の治療を続けながら働く人を支援する名古屋の団体。患者さんへの支援はもちろん、医療機関や企業などと連携した活動をしている。

2019年度に資金分配団体の公益財団法人日本対がん協会の草の根活動支援事業(全国ブロック)から助成を受ける。

報告者：代表理事 服部 文さん

ココが聞ける！

- ・助成事業の紹介
- ・申請に至る準備
- ・採択後のよかったこと、苦労したこと
- ・資金分配団体の伴走支援による団体の変化

パネルディスカッション

### 地域のNPOが休眠預金助成を活用するために必要なこと

JANPIA 吉田さん、CRCDF 三島さん、ブリッジ 服部さんの3名に、コーディネーターを交え、学びを深めます。

コーディネーター：原田 峻さん  
(金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科 講師)

2018年より現職。専門はNPO論・社会運動論・地域社会学。著書に『ロビイングの政治社会学—NPO法制定・改正をめぐる政策過程と社会運動』など。



## 休眠預金活用の流れ

